

国際ロータリー第2580地区（東京・沖縄）

# 東京武蔵村山ロータリークラブ

Tokyo-Musashimurayama Rotary Club

週報 No.1595

2004-05年度 国際ロータリーテーマ 「ロータリーを祝おう」 会長 グレン E. エステス. シニア  
国際ロータリー 第2580地区  
2004-05年度ガバナー 小堀 啓介



東京武蔵村山ロータリークラブテーマ  
「足元から地道な奉仕活動を」  
第33代クラブ会長 清水 高彦

「元気、やる気、根気（三気）を

12月はロータリー家族月間です。

本日の例会  
全員クラブ協議会

第1596回  
例会  
2004. 12. 1

次回例会案内【12月8日(水)】  
卓話 東大和警察署

## 第1595回例会報告

司会 芦川 征史 SAA副委員長

点鐘 (清水 高彦 会長)

斉唱 奉仕の理想

来客紹介 (清水 高彦 会長)

- 卓話講師  
北多摩西部消防署署長 熊澤 利久 様
- お客様  
米山奨学生 呉 祥松 様

出席報告 (比留間 一康 出席委員長)

会員数	出席者数	出席率	前々回出席率修正
33名	22名	66.67%	なし

幹事報告 (藤野 豊 幹事)

- ガバナーエレクト事務所 開設の案内  
(現ガバナー事務所と同じ)
- 例会変更  
臨海RC 12月8日→臨海東RCと合同夜間例会  
2005年3月2日→通常例会  
16日→11日 臨海東RC 合同夜間例会
- 清瀬RCより週報を頂きました。

会務報告 (清水 高彦 会長)

- RI会長主催 祝賀会議等 開催案内  
・晩餐会 4月29日(金) 18:00~  
新高輪プリンスホテル 18,000円
- ・本会議 4月30日(土) 10:00~  
新高輪プリンスホテル 10,000円  
\*登録必須 12月8日
- 2006~07年度 ロータリー財団国際親善奨学生候補受付  
\*地区ホームページよりダウンロードする。  
クラブ必須 1月31日(土)
- 米山奨学会 2005年度 採用 クラブ米山(CY) 奨学金の案内  
\*条件等詳細を確認の上、奨学生に伝える事
- 2006~07年度 ガバナーノミニーは小澤秀瑛君(青梅RC)に決定。
- 2005~06年度 地区大会 開催日変更  
2006年1月31日(火)、2月1日(水)になりました。
- 商工会より産業まつり協賛の礼状が届いています。

委員会報告

- IM実行委員会 (栗原 高明 実行委員長)  
例会終了後、責任者会議を開きます。
- ロータリー財団より (川島 利男 財団委員長)  
ベネファクター(1名)とポールハリスフェロー(6名)の認証状が届きました。  
◇ベネファクター (見延 壽昭 会員)  
◇ポールハリスフェロー  
(原田 友義 会員、峯岸 一郎 会員、芦川 征史 会員、清水 高彦 会長、田中 伸彦 会員、川島 利男 会員)
- 産業まつりについて (川島 利男 広報副委員長)  
産業まつりでは、ご協力ありがとうございました。

# 卓話 「新潟県中越地震に見る防災対策」

東京消防庁北多摩西部消防署 署長 熊澤 利久 様



## 1. 新潟県中越地震の発生と被害状況

震える大地、崩れる山々、震度7の激震が襲ったのは、平成16年10月23日(土)午後5時56分ごろ、新潟県中越地方を中心に北、北陸、関東などにかけての広い範囲で強い地震が発生。魚沼郡川口町で震度7、小千谷市で震度6強を観測した。続同6時12分ごろに震度6強、さらに同34分ごろにも震度6強い地震が発生した。地震の規模と被害状況は次の通りである。

新潟県中越地震	
・ 発生日時 平成16年10月23日(土)17時56分頃(本震)	
6弱以上の余震	4回 (23日 3回、27日 1回)
有感地震回数	732回 (11月10日現在)
マグニチュード	6.8
震源深さ	13 km
・ 震源地 中越地方 (震央 小千谷付近)	
震度7	川口町 (30日 20時 気象庁発表)
震度6強	小千谷市
震度6弱	中里村、長岡市他

被害状況		対象本部11月23日 9:00現在
人的	死者	40人
	負傷者	2,859人
	行方不明	0人
住宅	全壊	2,554棟
	半壊	5,124棟
	一部半壊	52,649棟
非住宅		21,063棟
道路		6,062箇所
崖崩れ等		442箇所
河川		229箇所
建物火災		9件

き  
現地

被害状況の中で火災が9件と比較的少なかったのは、阪神淡路大震災で電気復旧に伴う多くの火災を引き起こした教訓から電気の通電に慎重に対処した結果であります。被害状況は11月23日現在のもので、はこれから雪が降るため最終的な被害状況は来春から来夏になると考えられます。

## 2. 東京消防庁消防救助機動部隊 (通称 ハイパーレスキュー隊)

第  
され  
車

新潟県長岡市妙見町。母子3人の乗ったワゴン車が土砂に埋まった現場で、皆川優太君を奇跡の救出で一躍脚光を浴びた、東京消防庁のハイパーレスキュー隊は、阪神淡路大震災の翌年、平成8年震災や大規模特異災害に対処するために発足した。現在、大田区の二方面本部と立川市の第八方面本部に1隊ずつ計126人が配備されている。

10月27日 午前4時48分、第10次派遣隊に出動命令が下りハイパーレスキュー隊員17人を含み、30人が消防ヘリで立川飛行場を出発し、長岡市の災害現場到着後、ただちに活動を開始した。ワゴン



を飲み込んだ崩落現場は想像を超えて今にも崩れ落ちてきそうな非常に危険な場所での救出活動であった。優太君は深さ4m、直径50cmほどの穴の底にいた。隊員は暗く湿った穴の中から当時2歳の皆川優太君を救出したのである。残念ながら母親の貴子さんと真優ちゃんは遺体で搬出された。消防隊は火災や災害ではいつもこのような危険な現場で活動しているであります。



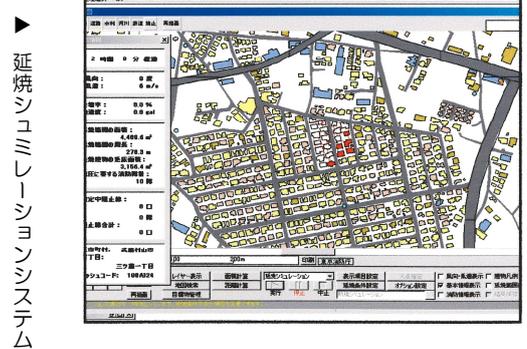
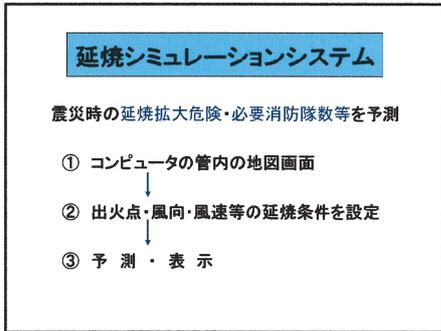
### 緊急消防援助隊

東京消防庁  
第13次派遣隊  
ハイパーレスキュー他 計 293名

北多摩西部消防署  
職員 3名  
災害多目的車 (マイクロ)

### 3. 延焼シュミレーションシステム

東京消防庁では震災時の延焼拡大危険・必要消防隊数等を予測するシュミレーションシステムを開発しました。これはパソコン画面の地図上に出火点・風向・風速等の延焼条件を入力することによって、時間の経過に伴う火災延焼状況を確認することが出来るものです。そのシュミレーションの結果に基づいて、消火の優先度の高い地域から、消防署あるいは地域の消防団を向け、消火活動にあたらせることが出来るようになっています。シュミレーションで自然に消火するところであれば消火活動は後回しにするなど、全体の被害をいかに少なくするかを判断しながら消防活動を実施するものであります。

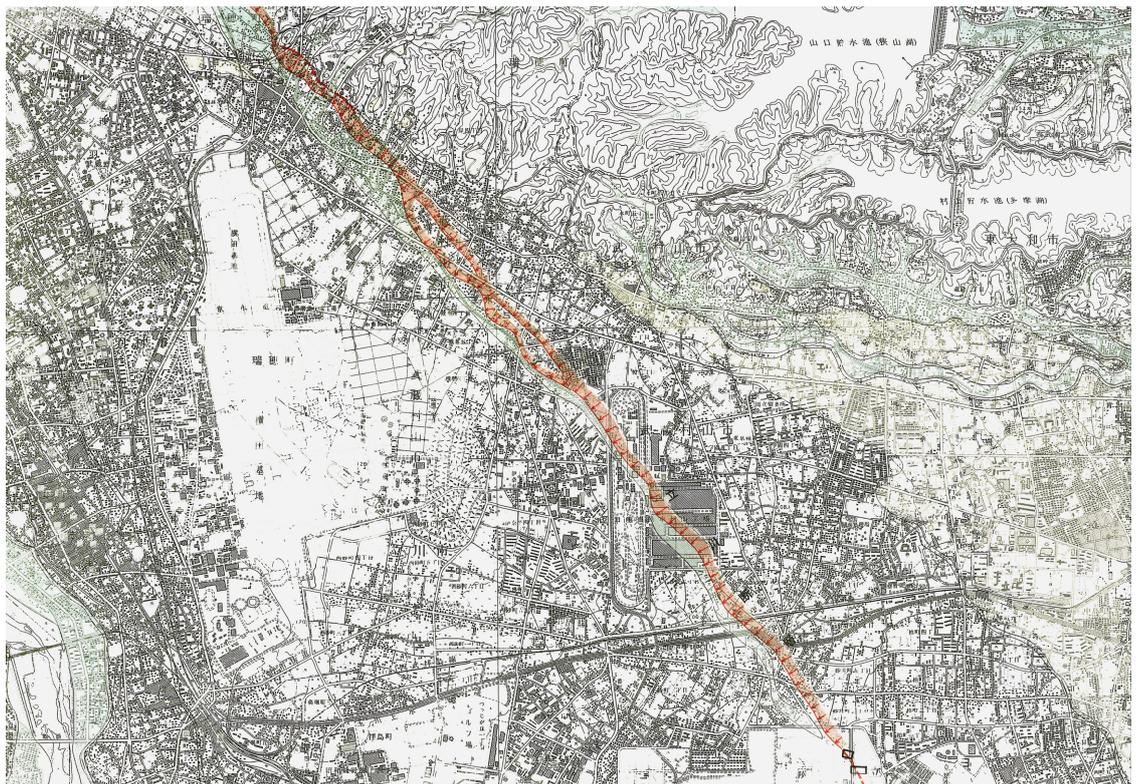


延焼シュミレーションシステム

### 4. 立川断層

活断層とは、概ね1000年から数万年の周期で繰り返し動いてきた跡が地形に現われ、今後も活動を繰り返すと考えられる断層。立川断層は埼玉県入間郡名栗村から青梅市の岩倉、瑞穂町箱根ヶ崎、武蔵村山市、立川市を経て国立市、府中市に至る約33 kmの北東側に隆起する断層である。ちょうど旧残堀川（瑞穂町狭山が池～岸～三ツ藤～旧日産自動車中央部～立飛企業東側～高松町～国立市青柳～多摩川）に沿った場所に存在する。立川断層の上下方向のずれは1000年で20 cm～30 cmである。最新の活動時期は約2万年前以後、約1万3千年前以前で、平均活動間隔は1万～1万5千年程度である。しかし、将来マグニチュード7.3程度の地震が発生する可能性があると言っている。今後30年間に発生する確率は0.5%～2%（平成7年兵庫県南部地震<阪神淡路大震災>マグニチュード7.3の地震発生直前の30年間の確立は0.4%～8%）でひとたび断層が動いたならば北東側に2m～3mの段差が生じると予想されている。立川断層は我が国の活断層としてはやや高いグループにある。今まで楽観的に見られていたが、現在、断層上には多くの構築物や施設等が存在しており非常に怖い面がある。

赤線が立川断層

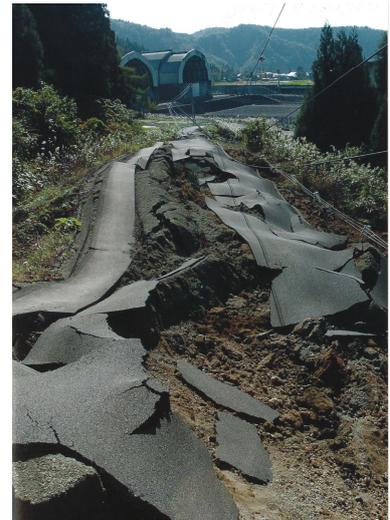


## 5. 震度7の恐怖

物が落ちる。地震時には比較的長い横波（横揺れ）が発生する。中越地震では東京に1分間mほどゆらゆら揺れがあることを忘れて落下するのに980galでド7の川口町で1722gal、阪神淡路大震災は、家を丈夫にし、地震時は物が落ちる以上とても人間の手で家具を押し、人間として加速度がかかるのだいことです。命が惜しかったら

震度7とは、道路が鉛のようにならねることであり、また、建物と基礎の部分とがシーソーのようにバタン、バタン上では落ちる揺れである。また、地震には地震波が存在する。震発地の直下は縦波であるのに対し、遠く離れた場所では比較的長い横波（横揺れ）が発生する。中越地震では東京に1分間mほどゆらゆら揺れがあることを忘れて落下するのに980galでド7の川口町で1722gal、阪神淡路大震災は、家を丈夫にし、地震時は物が落ちる以上とても人間の手で家具を押し、人間として加速度がかかるのだいことです。命が惜しかったら

の波が押し寄せ、新宿の超高層ビルの上層部では1動き、丁度、船酔いのような状態になった人もいた川崎のコンビナートでは石油タンクの油が1たとのことです。更には、地震には加速度はなりません。加速度は一般的に物体があるのに対し、中越地震ではマグニチュード7の川口町で1722gal、十日町で1337gal、小千谷市で1008gal、阪神淡路大震災では818gal。このような加速度が働く家具は固定して置くことが必要である。この加速度が横からかかるのだから、さえられるものではない。しかもから、この点、忘れてはならない家具を固定することです。



## 6. 地震対策

造り出した。従って皆さんに造っ

究極の地震対策は、地震で潰れない家に住むことである。阪神淡路大震災では、築10年以内の木造建築は10%の倒壊であったが、築20年では50%、築50年超では70%の家が倒壊したとの結果があります。これは昭和56年に建築基準法の改正によって耐震基準が大きく強化されたことによるものです。しかし、築10年以内でも10%倒壊した原因は、液状化現象と手抜き工事によるものであります。皆さんの家が昭和56年以前に建てられたものであれば、早急に信頼できる工務店に依頼していただくのが良いかと思えます。

▶ 倒壊した家屋



[担当：宮崎 茂夫]



**ニコニコBOX** (小林 均 親睦委員)

- ☀️ 清水高彦会長⇒沖縄地区大会、産業まつりには会員の皆様にはご苦労様でした。地区大会は、出席者が少なくて淋しく思いましたが何とか終わる事が出来ました。ありがとう。
- ☀️ 小野寺一昭会員⇒妻の誕生日を祝っていただきありがとうございます。11月20日に新居が完成しました。素敵な花ありがとうございました。
- ☀️ 川島利男会員(2件)⇒産業祭り御協力有難うございました。  
\* 結婚記念日を忘れていました。祝っていただきありがとうございます。

◆ 今回計 16,000円 累計 614,000円